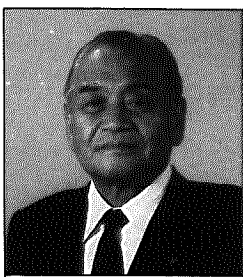


# 図書館建設も順調に

## 八月中には完成予定



岩室村長 鷺沢 勉

謹んで、新年のごあいさつを申し上げます。

景気浮揚も今一步、国の政情も不透明の中で迎える平成九年はどうなるのか、と考えさせられます。

このような年頭を迎えるにあたり、どのような事態にも対応できるように、村の財政状況を見直し、基盤の確立を図ってまいります。したがって、本年度は新規事業の取り組みは見送りたいと考えております。

さて、昨年着工しました村立図書館の建設は、工事が予定通り進捗しておりますので、八月中には竣工の運びになります。今後は、図書の実装を図ってまいります。

また、かねてよりの懸案でありました間瀬海岸の埋立事業も完成に近づいてまいりました。これの利用計画を国の漁港漁村研究所に委託してありますので、

きしだい、広く皆様方からご検討をいただき、成案を得たいと考えております。

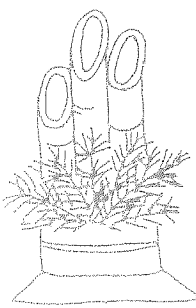
今年の新潟県消防大会の会場が、本村に決定されております。期日は、八月十日であります。本大会の会場につきましては各市町村の持ち回りになっておりまして、たまたま本村に決定になったものです。本大会は、全県下の市町村の消防団員が一堂に会し、平山県知事の検閲を受けることとなります。会場は、村民体育館と岩室中学校のグラウンドを予定しております。参加人員は、八百名を超えることになろうかと思われま。

昨年四月にオープンしましたデイサービスセンターでありましたが、ようやく運営が軌道に乗れ、登録老人数も七十名を超えております。毎日十名程度のご利用をいただいております。利用者からは好評をいただいておりますので、私も喜んでおります。私もこれがこれからの行かなければならない福祉の問題は、特別養護老人ホームの建設であります。現在、施設に入所されている方の数は二十四名であり、待機されている方が二十名程度であります。私どもの関係市町村の施設でも年々入所希望者が増加しておりますので、待機者が多くなる傾向にあります。これを満たすには、どうしても二・三年後に

は五十床程度の特別養護老人ホームの施設が必要になろうかと思われま。このような高齢化社会を迎え、冒頭に申し上げましたように、財政基盤の整備を図りながら村勢の運営に当たってまいりる所存であります。

次に、関係者各位の深いご理解とご協力により進めてまいりました国営大通川放水路事業もようやく国道一六号線を渡り、富岡地区の測量設計に入っております。このような大事業は、本村にとりまして有史以来の大事業ではなからうかと思われま。余すところ後一歩でありますが、関係地域の皆さんの一層のご協力をお願い申し上げます。

昨年は、暮れに姫川上流土石流災害が発生し、またもや自然災害の怖さを知らされました。今年も岩室村にとっても、また、村民の皆様にとっても良い年であることを祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



# 多様化する住民の要望に

## 多様化する住民の要望に



岩室村議会議員 早川 喜三郎

あけまして、おめでとうございます。平成九年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

村民の皆様には、ご健勝で新春を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。昨年、新年早々の一月二十一日に岩室村議会の改選が行われ、三名の新議員を含む十八名の議員が決まりました。議員一同、住民の意見を聞きながら、村勢発展のために努力してまいりましたつもりであります。

ところで、前年より掘削をしてまいりました新源泉が、湯温五十七℃と旧源泉より高温で、神経痛、慢性消化器病など数多くの効能のある温泉が湧出しました。その後、付帯施設の工事をいたしまして、九月より各旅館等に配湯をしております。今後の岩室観光の発展が期待されます。また、四月より間瀬小学校の岩室小学

校への統合が実現し、心配された両学校児童間の問題もなく、仲良く勉学にスポーツにと励んでいると聞いております。これも、岩室小学校の校長先生を始めとする教職員の方々のご努力のおかげと感謝を申し上げます。

新年度より、前年から建設を進めてまいりましたデイサービスセンターの運営をスタートし、岩室村民福祉の拠点として在宅で寝たきりのお年寄りの皆さんに喜ばれている所でありま。

新食糧法の施行により、「作る自由、売る自由」とのキャッチフレーズで始まった米作りですが、米余りの中、岩室村も二百八十haの転作面積が県より割り当てられましたが、村・農協の努力と農家各位の協力で百%達成できました。

なお、平成九年度は、平成八年度より始まった村立図書館建設工事が、十一月開館を目指し急ピッチで進んでおります。完成後は、生涯教育の拠点として、また受験生の勉学の場として、村民の皆様から利用していただきたいと思いま。

また、四月より新広域圏消防が吉田町、分水町、寺泊町、岩室村、弥彦村の五町村で発足いたします。今までの消防は、火災の方に力点があったわけですが、これからはいろいろな災害を想定した設備

を整えた近代的な設備で、村民の皆様への期待にこたえてくれるものと思われま。

今年、行政改革ならびに地方分権問題、介護保険問題が具体化すると思われま。私たちが岩室村議会は行政と協力しながら、村民の皆様が多様化する要望にこたえられるよう努力していきたいと思いま。村民各位のご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたしま。

平成九年一月一日



順調に工事の進む「村立図書館」建設工事現場

今年は何年



1997年

今年は何年。牛は、十二支の二番目、偶とい目反すう類ウシ科の動物です。胃が四つあって反すうすることはよく知られていま。

家畜としての牛には役牛、肉牛、乳牛などがあります。日本でも戦前は、農耕や運搬などに盛んに役牛が活躍していましたが、最近では、そのした風景はあまり見かけなくなりました。家畜以外の牛には野牛、水牛などがあります。牛が家畜として飼われたのは、新石器時代あたりが起源といわれています。日本でも、縄文時代に牛が飼われていたとい説があります。牛車は平安貴族の乗り物で、今も雛まつりの囃子に飾られています。

わたしたちが牛と聞いてイメージするのは、牧場の風景によく似合う白と黒の乳牛ホルスタインではないでしょうか。また、年賀状などの干支のイラストに登場するのは茶色の牛が多いようです。

人 ことわざにもよく登場します。一番よく知られているのは、「食事をすく獲ると牛になる」ではないでしょうか。昔は行儀の悪い子をしかるときに親がよくこの言葉を使ったものです。でも、最近では、食後にあわてて動くよりも寝ころんだほうが消化にもよいといわれ、この言葉はあまり聞かれなくなりました。

牛 はよく馬と比較されます。「牛歩戦術」は、牛がのろいことからきたもの。「牛のよだれは、だかららしていることと思われま。だが、商いは牛のよだれ」という言葉もあり、細く長く辛抱するのがよいということのようです。

「男と牛の子は急ぐものではない」とも、牛のようにゆったりと構えよということ。牛人気により、最近各地で肉牛の飼育が盛んに行われており、地域おこしにひと役買っています。昨年は狂牛病問題などで、牛にとっても受難の年でしたが、今年はおいしい牛肉をたっぷり食べられるといひです。ところで、証券業界には「ブル」という言葉があります。ブルとは雄牛のこと、積極的な取り引きのことをいひます。今年こそ景気の低迷から脱出したいものです。